

2024年度「卒業研究」評価ルーブリック							
学士力との関連	評価項目	評価指標					得点
		5点	4点	3点	2点	1点	
知識・技能	1 卒業研究の専門分野に関する知識	専門知識は豊富で正確であり、自立的に研究を進められるレベルである。	おおむね豊富で正確である。	研究を遂行するために必要最小限の知識を持つ。	専門知識が不正確で乏しいため、研究遂行に支障がある。	専門知識がほとんどないため、研究遂行に大きな支障がある。	
	2 卒業研究の周辺に関する知識	周辺分野の学修が非常に有効に生かされている。	周辺分野の学修がある程度生かされている。	研究を遂行するには十分な、周辺分野の知識がある。	周辺の知識が乏しいため、研究遂行に支障がある。	極めて知識が乏しいため、研究遂行に大きな支障がある。	
	3 研究遂行上の専門的スキル	研究遂行段階で学修した技能が、自立的に活用できるレベルにある。	研究遂行段階で学修した技能がある程度活用できるレベルにある。	研究遂行段階で学修した技能を、教員の指導の下に活用できる。	研究遂行段階で学修した技能のレベルは、十分でなかった。	研究遂行段階で、専門的スキルをほとんど習得しなかった。	
	4 情報収集の技術・能力	適切な図書・原著論文、電子媒体などの情報を、網羅的に収集し、正確に読むことができる。	関連する図書・原著論文、電子媒体などの情報を、おおむね十分に収集できる。	図書・原著論文、電子媒体などから情報を十分に収集できる。	図書・原著論文、電子媒体などの情報は、十分に収集できないため、研究遂行に支障がある。	図書・原著論文、電子媒体などの情報をほとんど収集できないため、研究遂行に大きな支障がある。	
	5 情報の分析・活用能力	情報を十分に分析・活用し、研究の根拠や考察に極めて有効かつ正確に活用できる。	情報を分析・活用し、研究の根拠や考察に有効に活用できる。	情報を、研究の根拠や考察に利用できる。	情報の分析・活用が不十分のため、研究遂行に支障がある。	情報をほとんど分析・活用できないため、研究遂行に大きな支障がある。	
	6 文章作成の技能	極めて正確に文章作成できる。	おおむね正確に文章作成できる。	ある程度、正確に文章作成できる。	正確な文章作成は十分にできない。	正確な文章作成はほとんどできない。	
	7 論文作成の総合的スキル	優れた論文を自立的に作成できる。	おおむね良好な論文を作成できる。	ある程度、正確な論文を作成できる。	十分に正確な論文を作成できない。	論文を書くことは困難である。	
思考力・判断力・表現力	1 研究背景の理解	研究背景を正確に理解し、その見解を研究課題の設定と計画の構築に自立的に生かすことができる。	研究背景をある程度正確に理解し、研究課題の設定と計画の構築に反映させることができる。	研究背景を正確に理解できる。	研究背景を十分に理解できないため、研究立案等に大きな支障がある。	研究背景をほとんど理解できないため、研究立案はほとんど不可能である。	
	2 研究課題の設定	研究活動期間の中で解決可能な研究課題を、極めて明確に設定できる。	研究課題をおおむね明確に設定できる。	課題を設定できる。	研究課題を正確に理解できないため、十分明確な課題を設定できない。	課題をほとんど理解できず、研究遂行に大きな支障がある。	
	3 研究計画の立案	研究活動期間の中で解決可能な、綿密な研究計画を立案できる。	おおむね適切な研究計画を立案できる。	研究を実施可能な研究計画を立案できる。	実行可能な研究計画を立案できないため、研究実施に大きな支障がある。	研究計画がほとんど立案できないため、研究を進められない。	
	4 試行錯誤・判断・研究の修正	研究遂行の過程では、優れた試行錯誤・判断・修正ができて、優れた成果を導いた。	研究遂行の過程では、おおむね良好な試行錯誤・判断・修正ができる。	研究遂行の過程では、なんらかの試行錯誤・判断・修正ができる。	研究遂行の過程では、あまり試行錯誤・判断・修正ができない。	研究遂行の過程では、ほとんど試行錯誤・判断・修正ができていないため、研究を進められない。	
	5 データ・資料・結果の考察・統合	データ・資料・結果の考察・統合を深く正確に実施し、新しい知見を誘導できる。	データ・資料・結果の考察・統合をある程度正確に実施できる。	データ・資料・結果の考察・統合が可能である。	データ・資料・結果の考察・統合があまりできない。	データ・資料・結果の考察・統合がほとんどできない。	
	6 プレゼンテーションや口頭による表現	優れた資料を作成し、強いインパクトを与える口頭説明やプレゼンテーションができる。	おおむね良好な資料を作成し、口頭説明やプレゼンテーションができる。	正確に内容を説明し、聴衆が理解できる口頭説明やプレゼンテーションができる。	口頭での説明に難点がある、あるいは、貧弱な資料しか準備できず、内容を正確に伝えることができない。	内容の口頭説明やプレゼンテーションがほとんどできない。	
	7 文章による表現	十分な分量と優れた文章によって、読者にインパクトを与える文章表現ができる。	十分な分量と分かりやすい文章によって、おおむね正確な文章表現ができる。	文章によって、研究内容等の説明ができる。	十分に分かりやすい文章が書けないため、研究内容等の説明には大きな支障がある。	研究内容の文章による表現は極めて困難である。	
多様な人々との協創	1 主体性	極めて主体的に取り組んだ。	おおむね主体的に取り組んだ。	ある程度、主体的に取り組んだ。	あまり主体的に取り組まなかった。	ほとんど主体的に取り組まなかった。	
	2 協創・協働	極めて協創的に取り組み、主導的な役割を果たした。	おおむね協創的に取り組んだ。	ある程度、協創的に取り組んだ。	あまり協創的に取り組まなかった。	ほとんど協創的に取り組まなかった。	
	3 地域社会や環境問題への共感	極めて高い共感を発揮し、研究に反映された。	おおむね高い共感を発揮した。	ある程度、発揮した。	あまり発揮しなかった。	ほとんど発揮しなかった。	
	4 発信・提案	論文作成過程で発信・提案を極めて的確かつ十分にを行った。	論文作成過程で発信・提案をおおむね十分にを行った。	論文作成過程で発信・提案を、ある程度、行った。	論文作成過程で発信・提案をあまり行わなかった。	論文作成過程で発信・提案をほとんど行わなかった。	
	5 フィードバック	他者の思考・知識・技能を、極めて十分に研究にフィードバックした。	他者の思考・知識・技能を、おおむね十分に研究にフィードバックした。	他者の思考・知識・技能を、ある程度、研究にフィードバックした。	他者の思考・知識・技能を、研究にあまりフィードバックしなかった。	他者の思考・知識・技能を、研究にほとんどフィードバックしなかった。	
	6 研究倫理	研究倫理を極めて適切に理解・遂行した。	研究倫理をおおむね適切に理解・遂行した。	研究倫理をある程度、適切に理解・遂行した。	研究倫理をあまり理解しなかった。	研究倫理をほとんど理解しなかった。	